

サイバーセキュリティ月間

令和7年2月1日(土)～3月18日(火)

不正利用被害を防止するための対策

1 パスワードの使い回しをしない

一つのパスワードが漏れてしまうと、その他のサービスでも不正ログインの被害に遭遇するおそれがあります。



2 パスワードは長く、複雑なものにしましょう

名前や生年月日に由来するパスワード、” P a s s w o r d ” や ” 1 2 3 4 5 6 ” などの簡単な文字列、キーボードの連続した文字列（例えば、” 1 q a z 2 w s x ” や ” q w e r t y ” など）は推測されやすく危険です。

3 その他の対策

多要素認証が利用できるサービスがあれば利用しましょう。

また、不正ログインされた時にすぐ気づけるようにログイン通知機能などを活用しましょう

サイバーセキュリティのキャッチフレーズ「知る・守る・続ける」

- ◆ 安全・安心・便利なインターネット環境を構築するポイントを「知る」こと
 - ◆ サイバーセキュリティ上の脅威から身を「守る」こと
 - ◆ 移り変わるサイバーセキュリティ上の脅威に対して対策を「続ける」こと
- 「知る・守る・続ける」は、サイバー犯罪被害に遭わないための意識を高めるキーワードです。インターネットは、今や生活に欠かせません。サイバー犯罪の手口を知り、自身の情報や財産を守るためにも、対策を続けましょう。

広報

坊所

作成者
鳥栖警察署
坊所警察官駐在所



進学・進級時における少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化

春は出会いと別れの季節です。子どもたちは環境の変化に適應できるか不安を抱えると、非行に走る危険性や犯罪被害に遭うリスクが高まります。警察のほか、地域一体となって、非行や犯罪被害防止に向けた環境づくりを目指しましょう。

子どもは、犯罪被害や悩みを打ち明けることが難しい場合もあります。日常から子どもとコミュニケーションをとり、変化にいち早く気付くことが大切です。

電話や面接により、非行・被害・学校問題等、少年に関する悩みや困りごとに関する相談を受け、問題の解決に取り組んでいます。

【少年サポートセンター】

場所：佐賀市松原2丁目2番27号 佐賀バルーンミュージアム3階
～ヤングテレホン（少年相談専用電話）～
☎ 0120-29-7867（フリーダイヤル）